

SMDに対する リソース指向アーキテクチャ設計法の提案

南山大学 情報理工学部 ソフトウェア工学科

2008MI160 中根拓也

2009SE026 福田雄介

2009SE093 岩下 翔

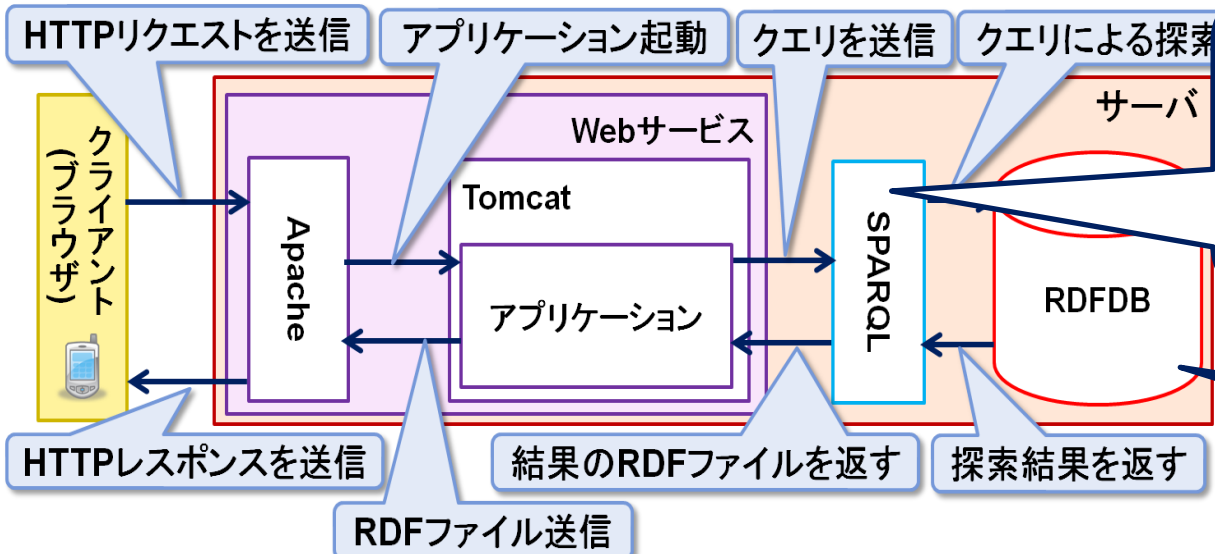
指導教員 青山 幹雄

目次

- 前回のおさらいと今回の動機
- 回答
- 提案シナリオ
- 提案アーキテクチャ
- RDFファイル探索プログラム実装に向けて
- 参考文献

SPARQL, RDFDBを用いる目的

提案アーキテクチャ



従来のクエリ(rdfDBやRDQL, SeRQL)の上に構築

+

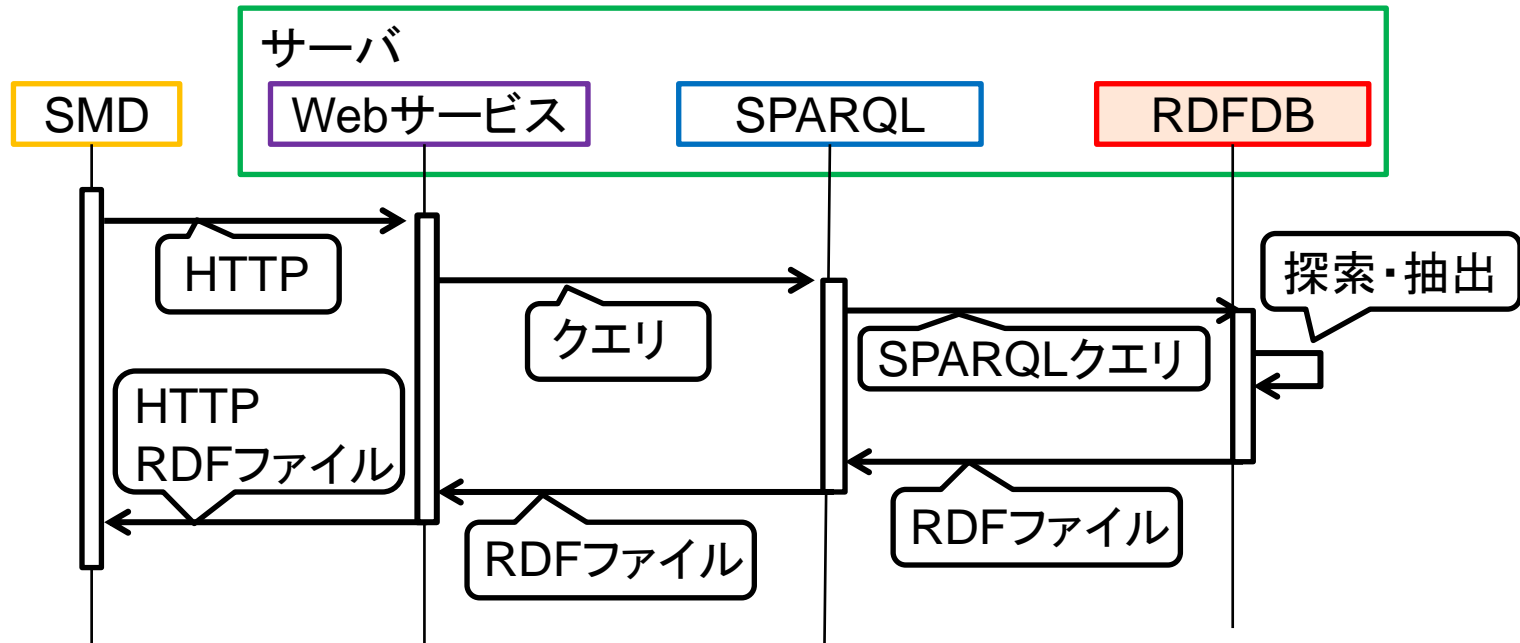
新たな機能
(代替一致, オプション一致)

情報をRDFファイルとして
抽出する為に使用

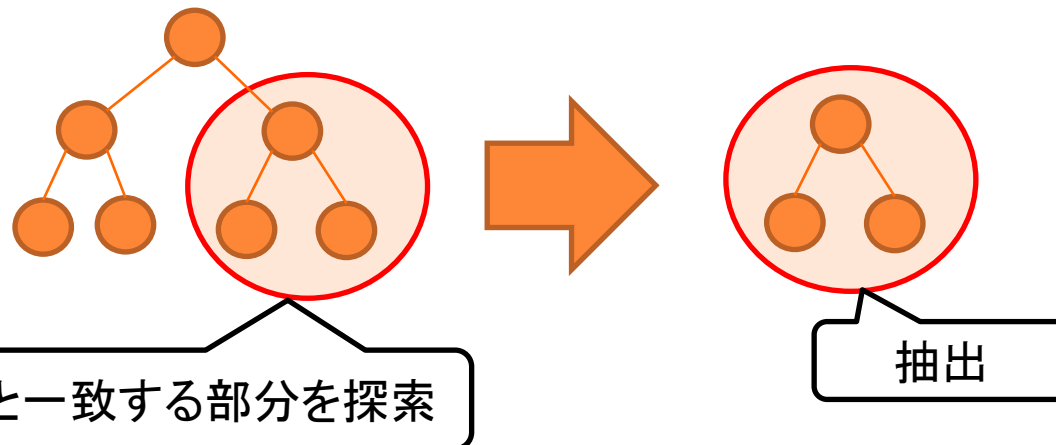
中間以後の内容

- アーキテクチャに対するシナリオの提案
 - 大量の画像を異なるDBから取得する場合を検討
- RDBとRDFDBのデータ構造, シーケンス図の比較
 - データの流れを比べ, RDFDBの有用性を示す.

処理の流れとRDFDBの探索・抽出



探索と抽出

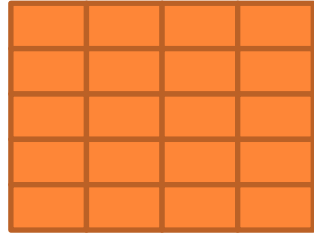


データ構造

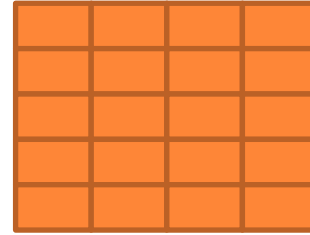
RDBのデータ構造

サーバごとに独立してデータを保存

サーバ1



サーバ2



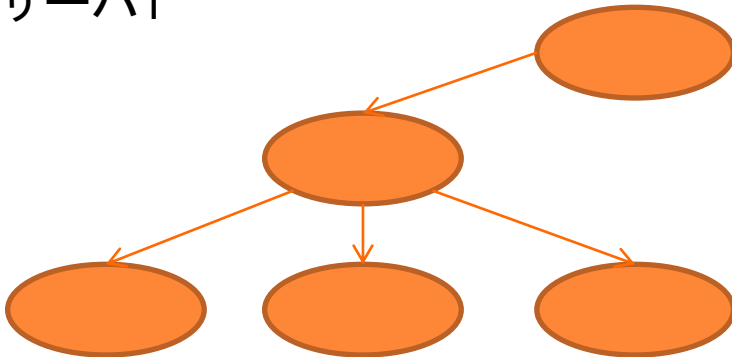
データそのものを保存

RDFDBのデータ構造

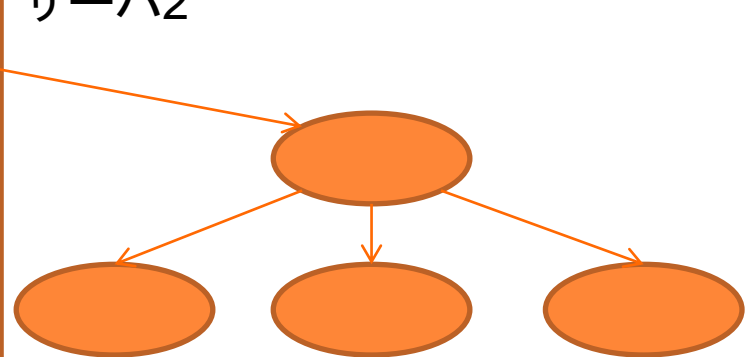
別サーバのデータとの関係性も記述可能

データに対する参照 (URI) を保存

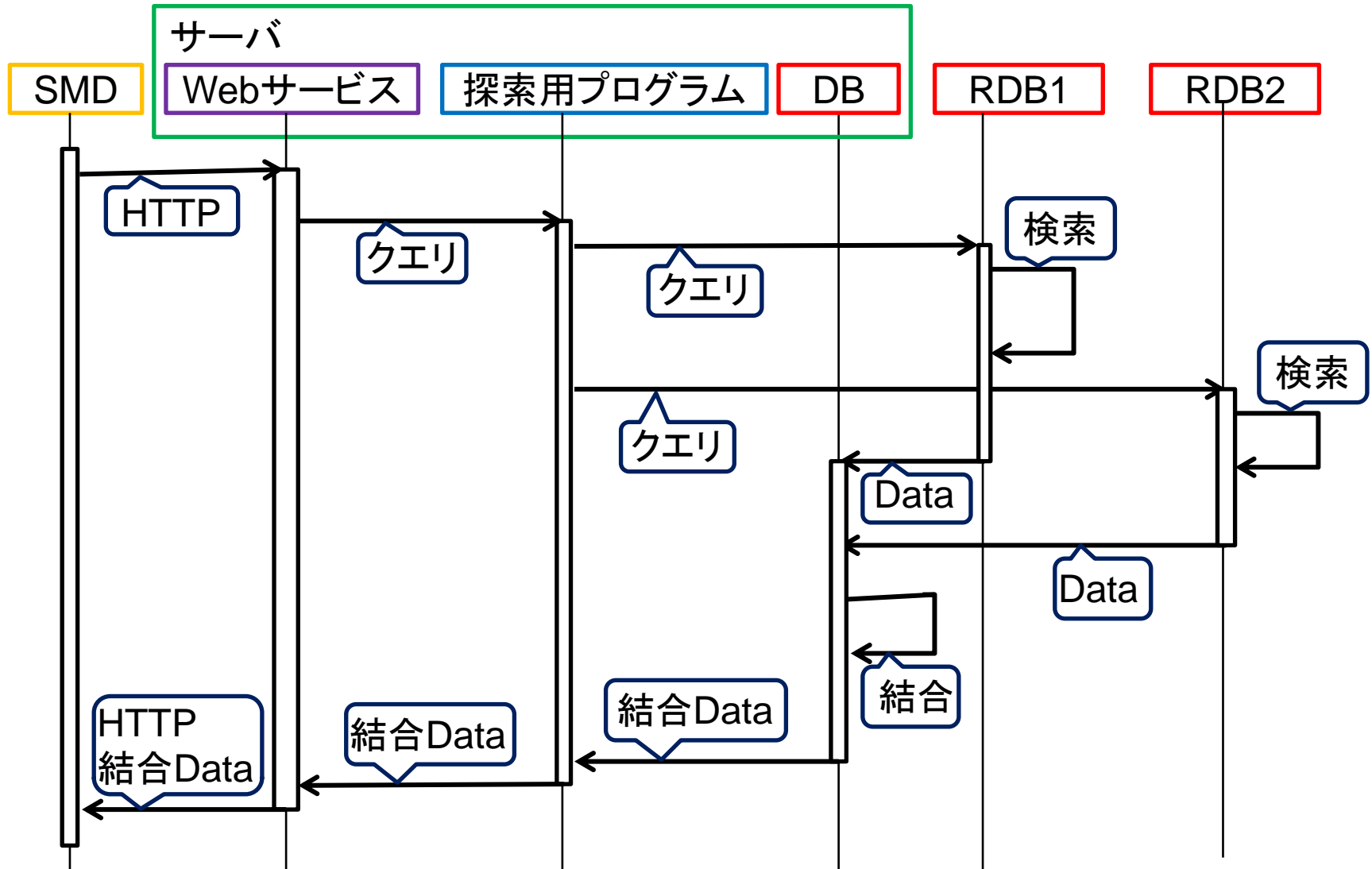
サーバ1



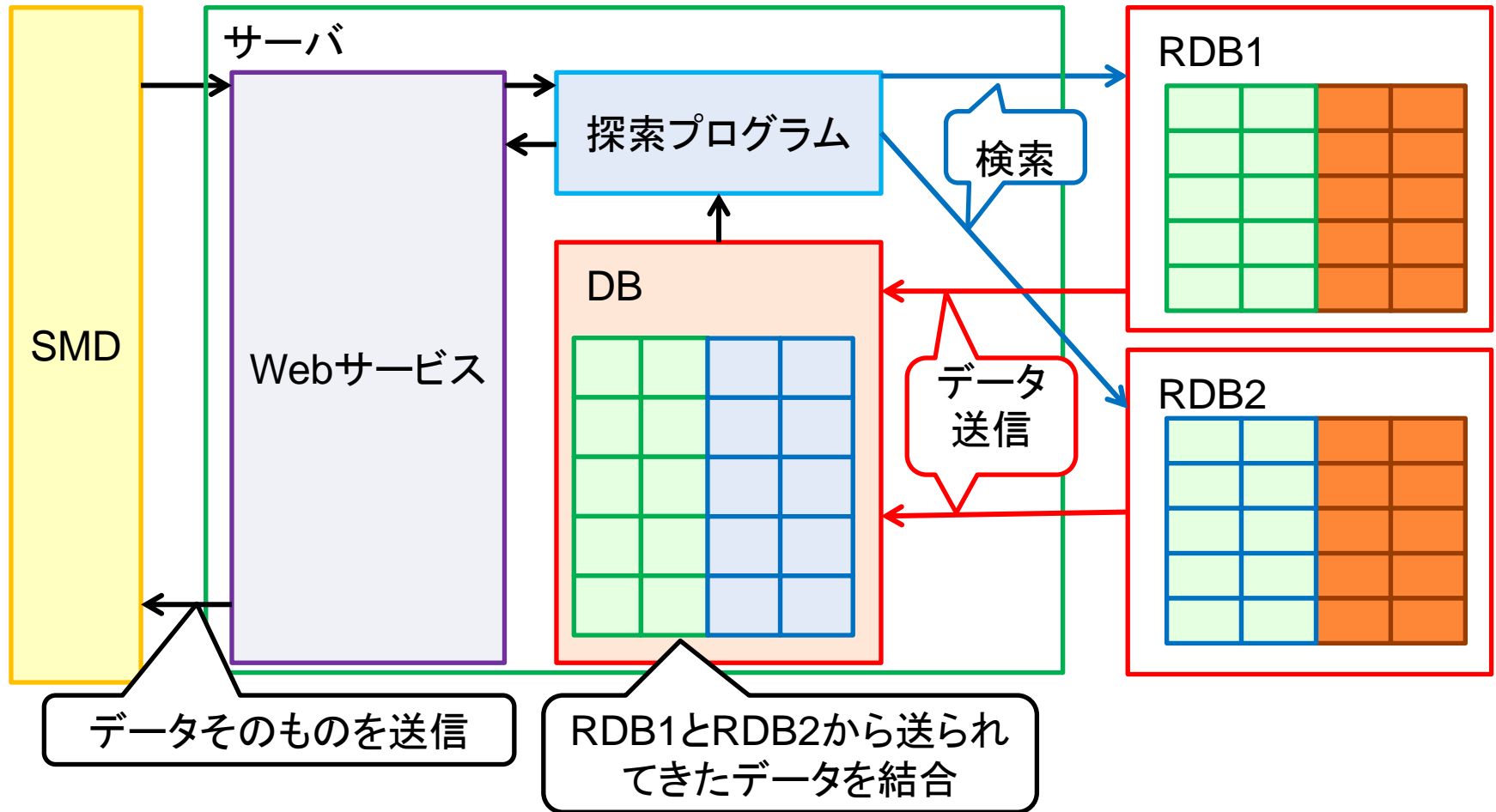
サーバ2



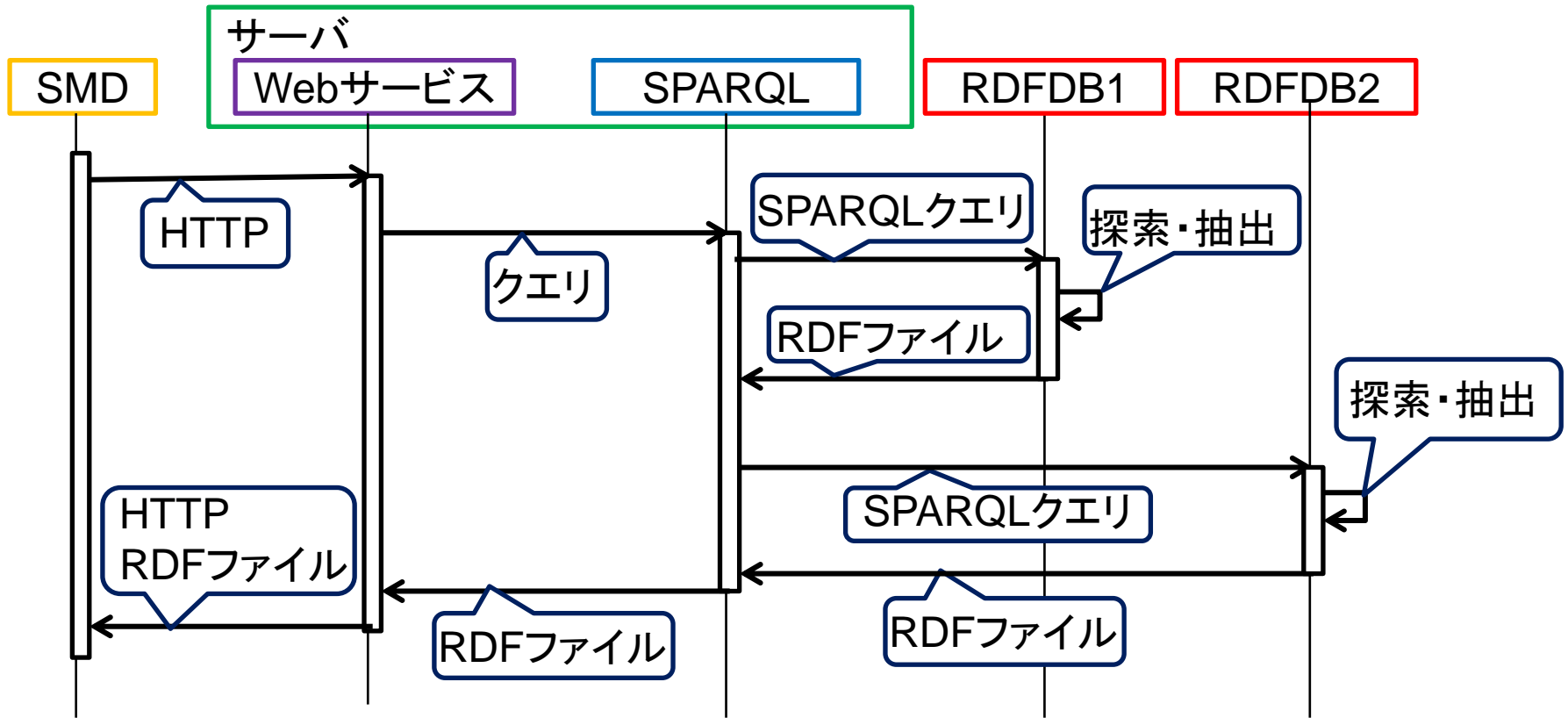
RDBでの処理の流れ



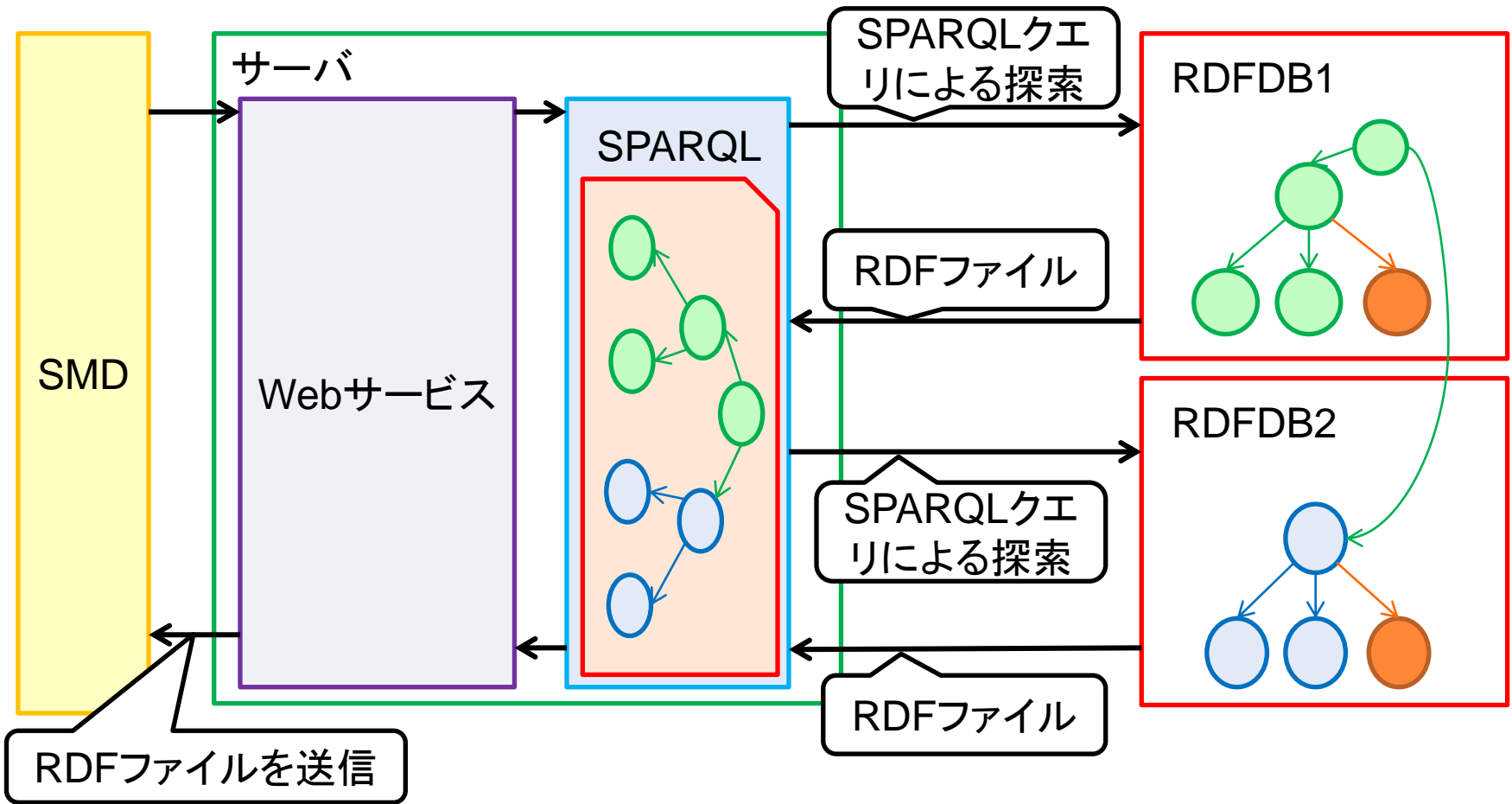
RDBでの処理の流れ



複数のRDFDBに対する探索・抽出



複数のRDFDBに対する探索・抽出



SMDに対する リソース指向アーキテクチャ設計法の提案

南山大学 情報理工学部 ソフトウェア工学科

2008MI160 中根拓也

2009SE026 福田雄介

2009SE093 岩下 翔

指導教員 青山 幹雄

END